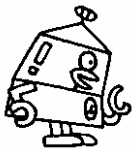


赤ちゃんが男か女になるかは、どうやって決まるの



お母さんの体内で、^{らんし}卵子とお父さんの^{せいし}精子が結びついたとき
決まるのさ。精子が二種類あるため、男や女になるんだよ。

卵子と結びついた精子によって、男か女かが決まる

お母さんの体内で、卵子とお父さんの精子が結びついた（^{じゅせい}受精）とき、赤ちゃんの命が始まります。

ところが、精子をよく調べると、二種類あることがわかりました。

一方の精子と結びついた卵子は、^{じょせい}女性になり、もう一方の精子と結びついた卵子は、男性になるのです。だから、卵子と精子が結びつく受精のときに、どっちの精子と結びつくかで、男性か女性かが決まってしまうのです。

赤ちゃんは、^{いでんし}両親から遺伝子をもらうので、両方になている

卵子には、お母さんの^{たいしつ}体質や^{せいしつ}性質を伝える遺伝子があり、精子には、お父さんの性質や体質を伝える遺伝子が入っています。そのため、生まれてくる赤ちゃんは、あるところはお父さんになていて、別なところは、お母さんになていているように、両方の性質や体質を受けつぎます。

また、自分はお父さんにあまり見かけがにいていなくても、遺伝子を受けついで生まれてくる自分の子ども（孫）に、おじいさんとよくにた顔つきや性質が出てくるようなこともあるのです。

顔がそっくりのいとこがいるのは、
親どうしが兄弟だからなんだね。

